



緑からもらったものを緑にかえそう!!

緑とともに

花いっぱい運動にご協力ください

第10号(2005年7月発行)

あいさつ

5月、「愛・地球博」瀬戸会場の市民パビリオンで「菜の花プロジェクト」の説明ボランティアに参加しました。会場にはたくさんの方が訪れ、当プロジェクト名誉会長でもある藤井絢子さんの講演も大盛況でした。また、5月27～29日には豊田スタジアムで「花いっぱい運動全国大会」が開催され、菜の花の種を配ったり、「菜の花プロジェクト」について説明する機会をいただきました。今後も多くの人達に菜の花を通して資源循環サイクルの必要性を伝えていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。



万博会場にて、藤井さんの講演の様子(上)
ボランティア活動(右)

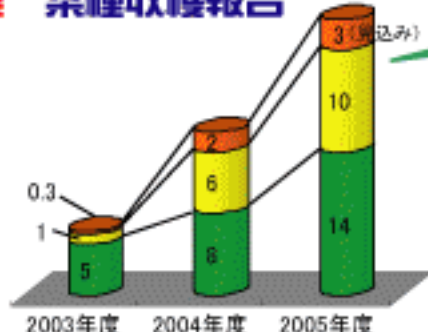


緑とともに ワンポイント



特集 菜種収穫報告

農協中央会女性部の有志の方の協力による収穫も入っています!



■なたね油搾油量(t)
■菜種収穫量(t)
■作付け面積(ha)



「なの花・なたねチャレンジ」の様子。そこで収穫された菜種も今年の「豊田・加茂のなのはな油」として生まれ変わります。

菜の花の作付面積

5haから14haへ拡大(約2.8倍)

なたね油搾油量

0.3tから3tへ(約10倍)

菜種収穫量

1tから10tへ(約10倍)



H16.5.27～29「全日本花いっぱい運動全国大会」にてご協力ありがとうございました。

メッセージ

豊田・加茂菜の花プロジェクト会員

松本 冴子 さん

「なの花・なたねチャレンジ」や万博ボランティアなど、当プロジェクトにも協力していただいています。

EXPOドームで全世界の注目をあびて、「愛・地球博」の開会式が開催されました。その会場いっぱいに飾った花は菜の花でした。なぜ、たくさんある香の花の中で菜の花が選ばれその役目を果たしたのでしょうか?それは菜の花はすばらしい循環サイクルができる花だからです。①花の咲く前は摘み菜として食べることができます。②花が咲いたら目や香りで楽しめます。黄色の花は元気が出るし、香を十分に感じさせてくれます。③種子になれば油や飼料、肥料に…と次々に役目を果たしていきます。④廃油になると石けんに変身して台所や洗濯物をきれいにし、バイオディーゼル燃料として車や船を動かす力の持ち主になります。空気が、森林、川、土、海等々大切な人類の宝物です。その宝物を安全に美しく次の世代に渡したい限られた資源はいずれの日にか無くなるのでは…。そこでサイクル型で安心できる菜の花を遊休地、休耕地を利用して咲かせようと組織的な取り組みも始まっています。種子の1粒1粒は小さいけれど集まれば大きな力となります。今菜の花はしっかりと熟していきさざるとパチリとはじけ黒々とした実が飛び出てきます。この種子からどれくらいの油が採れるかワクワクしながら、刈り取りに力をいれているところです。

お知らせ

- 6月23日 愛知県の「菜の花研究会」に参加
- 6月30日 愛知県で「菜の花協議会」を立ち上げることになりました
- 7月～ スタジアム東側農地(6ha)に「ひまわり」を咲かせる事業に協力します。9月開花予定、お楽しみに。
- 7月4日 滋賀県に廃食用油を利用した石けん作りを勉強しに行きます。
- 9月初 豊田スタジアムで行われる産業展にて今年の「なのはな油」の初売りを行います。

編集後記

ご愛読ありがとうございます。『緑とともに』は利用先の農家、関係企業の皆様方に配布しています。少しでも皆様の事業のお役に立てれば幸いです。みなさまのご意見・ご感想を事務局までご連絡なくお寄せください。

次号は**なのはな油**についてです。どうぞお楽しみに!!

豊田・加茂 菜の花プロジェクト

事務局 梅谷 岳志

〒471-0051 豊田市花丘町1丁目17番地
TEL 0565-31-0276 FAX 0565-34-3566
URL <http://www.hanacka.biz/>

※各号をファイルに閉じてミニ百科事典を作りましょう!!